

—法政大学 SGU 事業のお知らせ—

発行：グローバル教育センター 2022. 11. 15 No. 85

■ 「国際交流に役立つ日本文化セミナー」を開催しました

10月12日及び19日、日本茶に関するセミナーを行い22名の学生が参加しました。

このセミナーシリーズは身近な日本文化について考え、コミュニケーションに使えるトピックを増やしてもらうことを目的とした企画です。今回は「日本茶を知ってみよう～初級編～」をテーマに、コロナ禍以降の実践型イベントとしては久しぶりに対面でのセミナーを行いました。講師を務めていただいたのは、日本茶インストラクター、茶審査技術六段の資格を有する加藤亜希子さん（グローバル教育センター特任准教授）です。

セミナーは計2回、日本人学生向けと交換留学生向けに内容を変えて行いました。日本人学生向けには日本茶の歴史の説明に時間を割き、交換留学生向けには日本茶の製造工程や、東西での作り方の違いなどについて写真を交えた説明を加えました。また、どちらの回でも参加人数分の茶器を用意し、各自で煎茶を淹れてもらいました。

日本人学生でも最近では茶器に触れる人が少なくなり、お茶はペットボトルでしか飲まない人が増えつつあるため、講師の方からおいしいお茶の淹れ方を教わりながら実際に体験することは貴重な機会になったようです。さらに交換留学生向けの回では、留学生をサポートするHUBs (Hosei University Buddy System) の学生も参加してペアワークを行うことで、学生同士の交流機会も提供することができました。



〈ペアワークの様子〉

■ 大連理工大学との記念式典を実施しました

11月3日、本学協定校の大連理工大学との協定締結5周年記念セレモニーをオンラインで実施しました。

本学は大連理工大学と2017年9月に学術交流に関する協定（一般協定）を締結しており、今回は先方から協

定締結5年の経過を記念した式典開催の案内がありました。当日は廣瀬総長と大連理工大学の賈振元常務副学長からの挨拶の後、画面越しの記念品授受が行われるなど、趣向を凝らした会となりました。

式典に続き、学術シンポジウムとして2つの分科会が行われました。本学デザイン工学部建築学科と大連理工大学の建築芸術学院は、これまでも相互の研究に関して緊密な交流が行われてきました。今回の分科会でも、過去に共同プログラムを実施した高村雅彦教授を中心に活発な意見が交わされました。

併せて、本学の国際日本学インスティテュートと大連理工大学の日本語学科による分科会が行われました。椎名美智国際日本学インスティテュート運営委員長をはじめ、本学からも多数の教員と学生が出席し、それぞれの研究発表がなされました。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響で交流が滞りがちでしたが、今回の分科会を新しいきっかけとして、双方の強みを活かした連携がさらに深まることが期待されます。



〈画面越しに握手する廣瀬総長と賈常務副学長〉

■ 「国際白杖の日」イベントを共同企画

10月15日は世界盲人連合が定めた「国際白杖の日」です。本学の学生が、マレーシアで行われたイベントに参加しました。

「国際白杖の日」は、視覚障害への認識・関心を高めることを目的として、1970年に制定されました。視覚障害者が利用する白杖への理解を促進するため、毎年10月15日前後には世界各地でイベントが行われています。

10月30日にはマレーシアの首都クアラルンプールにおいて、マレーシア視覚障害者財団が主催したイベントが行われました。マレーシア政府、東南アジア有数の銀行であるCIMB財団や世界最大手の手袋メーカーTop Glove財団などとともに、現代福祉学部の佐野竜平ゼミとスポーツ健康学部吉田政幸ゼミの学生・教員計15人が、連携パートナーとして同イベントに参加しました。

イベントでは新型コロナウイルスへの対応に十分配慮しつつ、朝から2kmのウォーキングを行いました。白杖

を持った視覚障害者 100 人に加えて、ボランティアの方々、政府や民間企業関係者を含めた総勢 250 人が KL セントラル駅周辺に集まり、白杖について語り合いながら歩きました。

また今回のイベントへの参加にあたり、スポーツ健康学部で不要となったシューズ約 100 足やシャツなどをマレーシアに持参しました。これは本学が実施している「2022 年度環境・サステナビリティ教育実践プラン」の一環として、まだ十分に使用できるものを整理し、現地の視覚障害者、特に農村部で新型コロナ禍の影響を受けた方々に寄贈するために行った活動です。法政大学の参加学生を代表して、現代福祉学部 3 年の高橋李実さんからは、「スポーツシューズなどを再活用し、学生が主体となって国際協力を繋げられてとても嬉しいです。今後も日本とマレーシアの交流を継続し、絆を深めていきたいです」とスピーチを行いました。

参加した学生たちは、「多民族国家のマレーシアだからこそ、こうした背景の違いを越えたイベントが実施できるのではないかと手応えを口にしています。今後も両ゼミの学生がこうした国際企画に関わることで、障害インクルーシブなスポーツを通じた社会づくりの一助を担えればと考えています。



〈マレーシアの方々とのウォーキング〉



〈日本からたくさんのシューズを持参しました〉

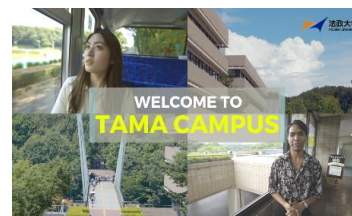
■ 英語学位プログラム動画を公開しています

国際入試課では、秋入学を実施している英語学位プログラム (GBP・SCOPE・IGESS) 広報用の動画を 10 月下旬に公開しました。プログラム紹介や学生によるキャンパス案内に加え、コロナ禍における大学生活や英語学位生向けのキャリアサポートについて紹介しています。動画には各プログラムの学生だけでなく、教職員が出演し、インタビューや授業風景などを盛り込みつつ、短時間で

アピールポイントをまとめています。これまで英語による動画では一つのコンテンツに様々な内容を含んでいましたが、内容別の短い動画を作成することで、受験生の関心に応じた情報を提供し、本学における学生生活をより具体的にイメージしてもらうことを目的としています。秋から冬にかけて展開する 2023 年 9 月入学の広報活動の一環として、本学のウェブサイトをはじめ、海外教育制度の就学者やインターナショナルスクール生を対象としたカレッジフェアなど多様な広報チャネルを通じて発信していきます。



①



②



③



④



⑤

- ① Introducing Ichigaya Campus
<https://youtu.be/G5qDGbTooUI>
- ② Introducing Tama Campus
<https://youtu.be/HNtwmkbmIEo>
- ③ Introducing IGESS
https://youtu.be/fLq-X_MULUU
- ④ Academic Life Amid COVID-19
<https://youtu.be/CFCH6tDng6A>
- ⑤ Career Support
<https://youtu.be/SBWvcyeR7zg>

SGU 事業の進捗をお知らせするため、毎月 1 号の定期刊行を目指して本ニューズレターを発行しています。みなさまからの SGU 関連情報もお待ちしています。

〈本ニューズレターに関する問い合わせ先〉
グローバル教育センター事務部 (神屋敷)
内線 : 81-9547
E メール : globaledu@hosei.ac.jp